

自治基本条例 検証シート

◆基礎情報

制度の名称/ 自治基本条例の条	広報制度/第21条	担当部課名	広報課
制度の目的 (誰に/何を/どうする)	行政の取り組みを広報あかしやホームページなどを通じて発信し、市民に市政への理解や関心を深めてもらい市政への参画を促すことを目的とする。		
関係条例等	なし		
制度の取組状況 (主にH30年度以降の取組を記載)			
<p>○広報あかし</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行日/毎月1日(12頁)、15日(8頁)、年2～3回特別号を発行 規格/タブロイド判、フルカラー 発行部数/80,800部 配布方法/①新聞折込 58,400部 ②シルバー人材センターによる戸別宅配 14,200部 ③公共・民間施設での配布 8,200部 ④アプリによる配信 16,669件 ※数値はR5年度決算事務事業シートから 視覚障害者向けの点字版や音訳版を発行 <p>○海峡のまち明石(明石ケーブルテレビ)</p> <p>月に2本制作(本放送24回)、毎週月曜日午後8時～8時15分放送。ケーブルテレビ視聴可能世帯は、51,074世帯。</p> <p>○ホームページ管理運営</p> <p>年間アクセス数は、年間約1400万件(38,000件/日)。R2から「あかし手話チャンネル」を開設し、動画による市政情報の配信を開始。ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなどのSNSによる配信も継続中。</p> <p>○報道機関への情報提供(パブリシティ活動)</p> <p>市長会見や記者レク、資料提供(440件)などの方法で情報提供している。</p>			
取組の成果/効果		取組の課題/制度に対する考え方	
<p>新型コロナウイルスに関する広報では、月2回発行のタブロイド判ということで、校了日から印刷までの時間が短く最新の情報をタイムリーに発信することができた。コロナ禍での情報保障という点から手話動画を開始したが、利用者から好評で現在も継続している。ろう者の市職員が出演し、職員が撮影・編集するため短期間での公開が可能となっている。ホームページについても即時性があることから、感染者情報、ワクチン情報など新型コロナに関するページの閲覧数が多く、一番多いときで1日23万件のアクセスがあった。</p>		<p>物価高騰や若者の活字離れなどにより新聞の購読者数が大幅に減っている。これまでの新聞折り込みによる配布から、今後は希望者への戸別宅配の周知や、スマートフォンアプリでの閲覧を積極的に広報していきたい。また、SNSや動画を利用した広報活動も引き続き行い、幅広い層への市政情報の提供を行っている。</p>	

検証(1) 制度が社会情勢に適合しているか

制度に関連した社会情勢	左記の社会情勢の現状と制度が適合しているか	自己検証	横断的検証	市民検証
インターネットやスマートフォンの普及により、市民の情報収集の手段が多様化している。一方、紙媒体での情報を希望する市民も多い。	市民への説明責任や情報共有を果たしていくため、広報紙やホームページ、SNS、記者提供を組み合わせるなどの工夫をしている。今後も社会情勢を踏まえた効果的な情報発信が求められる。	○	○	

検証(2) 本市にふさわしい制度か

	自己検証	横断的検証	市民検証
広報アンケートなどの市民の声や社会情勢を踏まえ、制度の趣旨に鑑みた情報発信や情報共有を図っていると考える。	○	○	

検証（３）制度が条例の基本原則に適合しているか

市政運営の基本原則	市政運営の基本原則に基づいて、制度が運用されたか (右記「自己検証」で「一」を選択した場合は記載不要)	自己検証	横断的検証	市民検証
1 参画と協働に基づくこと	市政情報の入手方法や広報媒体の利用頻度について意見を聴く広報アンケートの実施や、特集企画で広報紙への意見を聴取するなど広報活動の参考としている。	○	○	
2 公正で透明であること	広報あかしの配布については、新聞未購読世帯へは、無料で希望者へ戸別配布を行い公平性を担保している。近年は公共施設のみならず、商業施設や医療機関などへ広報あかし設置の協力要請をしており、幅広く市民の手に行き渡る機会を拡充している。	○	○	
3 効果的で効率的であること	配付方法については、新聞折込と戸別配布を採用することで、郵便代より費用を抑えることができている。また、ホームページについては紙媒体に比べ物理的制限がないため、より詳しい内容を掲載ができ、効果的で効率的な発信ができている。	○	△	
4 施策を計画的に実施し、実施結果について評価を行うこと	広報紙については年間計画を作成し、より効果的な時期に市民に広報できるようスケジュールを組んでいる。また、広報アンケートでは、7割の方が「毎号・大体読む」と、読みやすさに関しては9割が「読みやすい・普通」と回答しており、引き続き分かりやすい読みやすい紙面作りを続けていく。	○	○	

▶ 横断的検証（庁内検証会議）コメント

<p>【検証１】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化により、新聞購読者やケーブルテレビの視聴者が減少している。You Tube やInstagram等のSNSを活用し、幅広い世代に市政情報を発信する必要がある。 <p>【検証２】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、手話動画の配信や、ワクチン情報等の必要不可欠な情報を、「文字を大きく記載する、難しい文字にはルビを入れる」などのきめ細かい配慮を施した点は、本市の「誰にもやさしいまちづくり」にふさわしい取組であったと言える。 <p>【検証３】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あかしについて、新聞未購読世帯へは個別配布等を実施しているが、より多くの市民に公正で透明な情報を届けるため、到達率を向上させて欲しい。また、広報あかしを「届ける」だけでなく、「見ってもらう」ための工夫も必要である。 ・現行のホームページのページ数が多く、メニューなども多岐に渡るため、より効果的かつ効率的に市民が閲覧できるよう、リニューアル作業を進めて欲しい。また、パソコンで閲覧することを前提とした作りになっているため、操作性やデザイン性に優れたスマホ対応の検討もして欲しい。

前回の市民検証報告書の意見に対する各年度の取組状況

広報制度	
平成29年度 検証報告書の内容	平成30年度以降の市の考え方や取り組み・対応状況
<p>1</p> <p>① 情報共有における各取り組みの費用対効果を検証することにより、自治基本条例に基づいてきちんと広報活動が展開されているかが見えてくると思う。また、広報紙において、市としてPRしたい内容を分かりやすく伝えていくことも大事だが、一方で予算、決算、各事業の詳細などについても地道に情報を伝えていくことが必要で、読んでもらうための分かりやすさと情報量のバランスを考えなければいけない。</p> <p>② 障害を持っている方など、情報に自らアクセスしにくい方への情報提供について、きめ細かい配慮が大切である。</p> <p>③ 広報活動について、市民参画の観点から市民との意見交換の手法を検討するなど、市の広報媒体に対する市民の意識を把握しておくことが重要である。</p>	<p>①概ね4月1日号で新年度予算、9月15日号で前年度の決算を掲載している。各事業の詳細についても、新規事業など市民にお知らせする必要がある場合は、特集や記事面で紹介している。紙面には限りがあるため、スペースの調整が必要になるが、QRコードを配置し、ホームページで詳細を確認できたり、必要に応じてチラシやポスターを作り、公共施設での配布なども行っている。</p> <p>②(広報あかし) コロナ禍では、ワクチン情報など必ず伝えたい情報の文字を大きくする、難しい漢字にはルビを入れる、ファックス番号やメールアドレスを併記など工夫をした。 (ホームページ) 聴覚障害者向けに「あかし手話チャンネル」をR2年に開設。コロナの最新情報、市からのお知らせを手話動画にして配信している。</p> <p>③市民の市政情報の入手方法や広報媒体の利用頻度や意見を聞く、「広報アンケート」を5年に1度実施。直近では2023年に3000人を対象に行った。結果については、市ホームページで概要を公開している。いただいた声は、今後の広報活動の参考としている。 また、概ね年1回行っている広報紙のプレゼント企画でも読者から紙面への意見を聴取している。</p>

明石市の情報は こちらから

さまざまな方法で情報をお届けしています

毎月1日・15日発行 広報あかし

「広報あかし」は、毎月1日（12ページ）と15日（8ページ）に発行しています。

〈広報紙の配布方法〉

- ・日刊新聞6紙（神戸、朝日、読売、毎日、産経、日経）に折り込み
- ・新聞を購読していない人には、ポスティング（個別配達）でお届け

配布以外に、市ホームページへの掲載や無料アプリでの配信も行っています。



点字広報や音声広報も発行しています。

スマートフォン用無料アプリ マチイロ

広報あかし（毎月1日と15日）・市議会だより（年5回）をアプリで配信しています。発行日にはお知らせが届くので便利です。

登録方法

- ①QRコードからアプリをダウンロード
- ②「お住まいの地域」を「明石市」に設定



iOS版は
こちら



Android版は
こちら



個別にお届け ポスティング

新聞を購読していない人には、ご自宅のポストに直接お届けしています。ご希望の人は電話・ファクシミリ・ネットで、広報課にお申し込みください。

名前・フリガナ・住所・電話番号を記入し、下記までお申し込みください。右のQRコードからも申し込みできます。

広報課

電話：918-5001
ファクシミリ：918-5101



毎日最新情報をお届け ホームページ

毎日情報を更新し、市民の皆さんに分かりやすく情報をお届けするとともに、災害時や緊急時の情報発信をしています。また、SNSサービスを利用した情報発信も行っています。

市ホームページはこちらから



フェイスブック・X・インスタグラム

SNSで広報あかしや市の情報をお届けしています。



フェイスブック



X



インスタグラム



明石ケーブルテレビ 海峡のまち明石

【放送日】月～日曜日 午後 8時～ 8時15分
火～日曜日 午前10時～ 10時15分

過去放送分は、市ホームページ「動画チャンネル」やYouTubeからご覧いただけます。



YouTube 動画チャンネル

- ・明石市役所公式 YouTube サイト
- ・まるちゃんねる（明石市長動画チャンネル）
- ・あかし手話チャンネル

明石市役所
公式チャンネルは
こちらから



検証(1) 制度が社会情勢に適合しているか

- ◆インターネットやスマートフォンの普及が進む一方、主たる紙媒体である新聞購読率は減少を続けている。

インターネット普及率 84.9% (2022年)

※ 出典:総務省「通信利用動向調査」

スマートフォン普及率 97% (2024年)

※ 出典:ドコモモバイル社会研究所「モバイル社会白書」

新聞購読率 58.1%(2023年)

※ 出典:(公財)新聞通信調査会「第16回メディアに関する全国世論調査」

- ◆令和5年度に広報課が実施した「明石市広報活動に関するアンケート調査集計結果」によると、市の情報を「広報あかし」から得ている人は56.8%で最も高くなっている。一方、上記社会情勢と同じようにホームページやSNSから情報を得ている人が若い世代を中心に増えている。

※ アンケート結果は市ホームページ「明石市広報活動に関するアンケート調査について」で公開中です

- ◆「今後、広報あかしをどのような形式でよみたいですか」との問いには、約70%の人が紙媒体での購読を希望している。

- ◆紙からデジタルへの流れを踏まえながら、別紙「明石市の情報はこちらから」に記載の通り、紙媒体である「広報あかし」、ホームページ、SNSを組み合わせ市民に必要な情報が届くように工夫を行っている。

検証(2) 本市にふさわしい制度か

市は 2030 年のまちの姿を、「SDGs未来安心都市・明石～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～」と定め、すべての人にやさしいまちづくりを進めています。

≪具体的な取り組み≫

◆広報あかし

- 月 2 回発行することで、市民に伝えたい情報を表紙や特集に取り上げタイムリーな情報提供を行っている
- 中学校卒業レベルの日本語能力を持つ人が読めるように、広報紙では難しい漢字はひらがなにする、ルビを付ける、できるだけ行政用語は使わずに身近な言葉をつかうなどの工夫をしている
- イラストや写真を多く使用することで、分かりやすく「伝わる」紙面を目指し作成を行っている
- 市民の笑顔の写真を多く掲載するなど、みんなでまちづくりを進めていることが伝わる紙面づくりを行っている
- 視覚障害者に向けて、広報あかしの音訳版と点字版を発行

◆動画

- ケーブルテレビ「海峡のまち明石」はすべての放送に文字テロップを挿入
- 令和 2 年からは「あかし手話チャンネル」を開設し、障害のある人にも情報が届くよう取り組みを広げている。聴覚障害のある職員が自ら情報発信することで、当事者の視点から情報を発信することができている。

◆ホームページ

- 視力の弱い人や高齢者などあらゆるユーザーにとってアクセスしやすい環境を作るため、文字サイズの拡大、画面配色の切り替えなどサイト支援ツールを導入している。
- アクセシビリティ方針を定め、年 1 回検証を行い、結果を公表している。また、ホームページ作成時にはアクセシビリティチェックツールを使用することにしており、庁内の職員にも徹底している。

検証(3) 制度が条例の基本原則に適合しているか

1 参画と協働に基づくこと

◆市民の声を聴くために広報アンケートを実施

「令和5年度(2023年度)明石市広報活動に関するアンケート調査」

調査地域:明石市全域

調査対象:明石市在住の満18歳以上の男女

標本数:3,000人

調査方法:郵送配布・返信用封筒または、インターネット上から回答

調査期間:令和5年7月6日～31日

回収数:936件

回答率:31.2%

《その他、広報紙上での市民との協働について》

- ◆「あかしこども新聞」の企画で、小学4～6年生が子どもレポーターとして紙面に参加。R6年度は「みんなでつくろう明石のみらい」をテーマに、市と連携協定を結ぶ、会社や学校を取材し、紙面を作成し9月15日に発行した。



あかしこども新聞 9月15日号

- ◆2023年1月1日号で「あかしのたからもの総選挙」を実施。4293件の応募があり、広報紙への意見をもらう。

【主な意見】イラストや写真が多くカラーで読みやすい。地域のことがよく分かり生活に役立っている。明石のことがより好きになったなど高評価の意見が多かった。



広報あかし 2023年1月1日号

- ◆2023年9月1日号で、市民から募集した元気な高齢者に紙面に登場してもらい、元気なひけつなどを紹介した

- ◆スポーツや文化・芸術などの分野で活躍する明石の子どもたちを「わがまち☆H ERO」として、広報あかしで紹介。自薦・他薦を問わず、随時情報を募集している。2019年9月からコーナーを開始し、これまで14回掲載。

2 公正で透明であること

◆広報紙は、確実性とコストの面から総合的に判断して、新聞折り込みを主たる配布方法としている。新聞未購読者には希望により無料のポスティングを行うことで、公平性を担保している。

◆加えて、より多くの人に手に取ってもらうために、商業施設や病院に設置の協力を求めている。

≪商業施設≫コープこうべ・イズミヤ・マックスバリュ・ローソン・ファミリーマートなど

◆近年はスマートフォンアプリ「マチイロ」の周知も行っており、登録者は現在、約13,700人となっている。

⇒さまざまな配布方法を組み合わせることで、より多くの人に各々の希望に沿った方法で市政情報を届ける工夫を行っている。

3 効果的で効率的であること

◆新聞折込の単価…7.1 円@8 ページ、11.6 円@12 ページ

◆ポスティング単価…41 円@8 ページ、43 円@12 ページ

◆郵便料金…84 円@定型(25g以内)

⇒ 最も費用が安く、同時性や公平性が一定程度担保できる新聞折込で配布数のベースを作り、新聞未購読世帯にはポスティングで対応するほか、無料アプリでの配信も行うなど効率的に情報を届けることができている

◆令和 2 年 9 月 1 日発行の「広報あかし」が第 68 回兵庫県広報コンクールで最上位の特選に選ばれた。「市が保健所を持つ強みを生かし、新しい情報を分かりやすくまとめた」点が高い評価を得た。外部から評価を得ていることから、市の情報を効果的に提供できている。また、毎日新聞社主催の「近畿市町村コンクール」では令和 4 年度に優秀賞を受賞している

◆ホームページについては、紙媒体より詳しい内容を掲載することができ、効果的で効率的な情報発信を行っている。

◆一方、令和 5 年度に広報課が実施した「明石市広報活動に関するアンケート調査集計結果」によると、「明石市ホームページで工夫や対応が必要と思われる点は」との問いに「情報の探しやすさ」と答えた人が 47.3%となっている。

また、「内容や説明の分かりやすさ」と答えた人も 21%となっている。

⇒ 情報を探しやすく、分かりやすいホームページが求められていることから、利用する人が見やすく、情報入手しやすい「すべての人にやさしい」ホームページを目指してリニューアルを実施することとなった。来年 2 月のリニューアル公開に向けて作業を進めている。

4 施策を計画的に実施し、実施計画について評価を行うこと

- ◆月 2 回(毎月 1 日・15 日)、年間 24 回広報紙を定期的かつ計画的に発行することで市民にタイムリーな情報を届けることができている。
- ◆令和 5 年度に広報課が実施した「明石市広報活動に関するアンケート調査集計結果」によると、「毎号読んでいる」「大体読んでいる」と答えた人の合計は全体で71%となっており、前回(68.1%)と比べ少し増加している。
- ◆令和 5 年度に広報課が実施した「明石市広報活動に関するアンケート調査集計結果」によると、「読みやすい」と答えた人は 42%で、前回(38.2%)からわずかに上昇している
- ◆また、「読みやすい」「ふつう」と答えた人の合計は全体で 97%となっており、多くの市民に読みやすい広報紙を届けることができていると考えている

令和5年度(2023年度)
明石市広報活動に関するアンケート調査
集計結果

2023年(令和5年)12月
明石市 政策局
シティセールス推進室 広報課

I 調査概要

1 調査目的

市民の市政情報の入手方法や、主要広報媒体である「広報あかし」や「明石市ホームページ」について利用頻度や意見などを問い、今後の広報活動を行ううえで参考とするため、広報に対する市民の基礎的なニーズや意識を調査収集することを目的とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 明石市全域
- (2) 調査対象 明石市在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・返信用封筒(受取人払い)または、
インターネット上から回答
- (6) 調査期間 令和5年7月6日 調査票発送
令和5年7月31日 調査票回収期限

3 調査内容

- (1) 回答者の年代
- (2) 市政情報の入手方法
- (3) 「広報あかし」について
- (4) 「明石市ホームページ」について
- (5) ケーブルテレビ「海峡のまち明石」について
- (6) 市の広報活動に対する意見・要望

4 回収結果

- (1) 発送数 3,000件
- (2) 回収数 936件
- (3) 回答率 31.2%

5 データの記述について

- (1) 比率は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのために、比率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 質問の選択肢から複数の回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超える。
- (3) 図表の項目の文字数が多い場合、見やすさから文字を省略している場合がある。

Ⅱ 調査結果

総括

1 共通事項

▶市の情報を「広報あかし」から得ている人は56.8%で最も高くなっている。一方、ホームページやSNS(前回調査2.9%⇒10.3%に増加)から情報を得ている人が若い世代を中心に増えている。

▶市の広報活動で充実して欲しいテーマは「健康・医療に関すること」が最も多い。しかし、29歳以下・30代・40代では「観光・イベントに関すること」が最も多く、世代によって、必要とする情報は異なる。

2 広報あかし

▶71%の人が定期的(「毎号」もしくは「大体」)に広報あかしを読んでおり、そのうち42%の人が読みやすいと回答している。

▶広報紙に対する感想では、文字が大きく読みやすい、レイアウトが見やすいなどを評価する意見のほか、欲しい情報が少ないという回答もあった。

▶改善点では、広報紙の情報量や文字数が多いという意見があった。市政の情報を、分かりやすく視覚的に把握できる紙面作りが求められている。

▶広報紙を読まない理由としては、「届いていない」・「入手方法が分からない」と回答した人が多い。新聞を取っていない人に、ポスティングやアプリの周知が必要だと考えられる。

3 ホームページ

▶「必要な時だけ見る」人が68.3%と半数を超えている。一方、70歳以上では41.5%の人が「見たことがない」と回答しており、世代間の格差が伺える。

▶47.3%の人がホームページで工夫が必要な項目として「情報の探しやすさ」と回答しており、情報を探しやすいホームページへの改善が求められている。

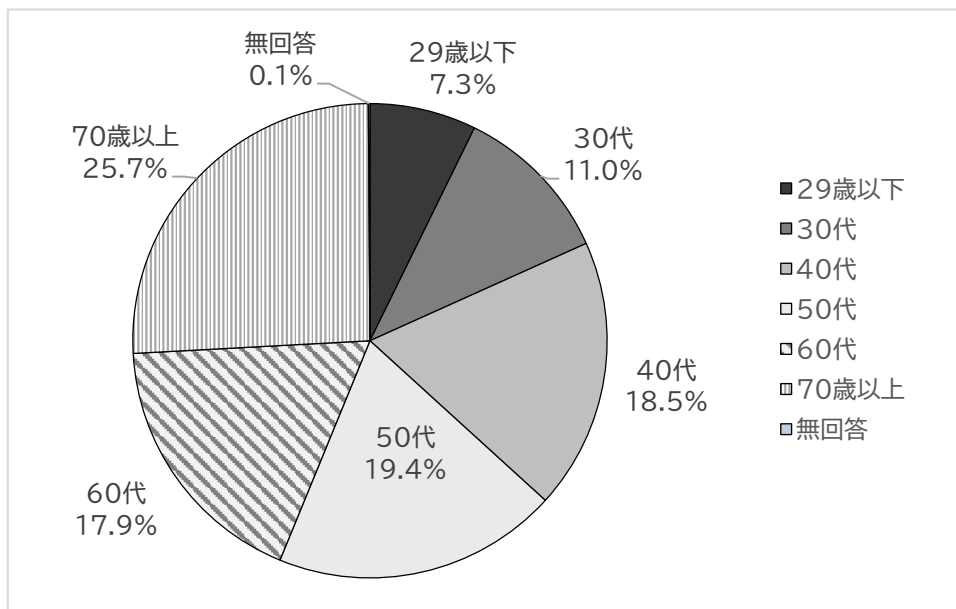
▶必要な情報が「なかった」と回答する人は6.9%であったものの、「説明が不十分」と感じている人を合わせると53.1%となり、より探しやすく、伝わりやすいHP作りが求められていると考えられる。

4 ケーブルテレビ

▶「見たことがない」・「ケーブルテレビが映らない」と回答した人の合計が74.7%と、認知度は低い。

共通事項

問1 あなたの年齢を教えてください。(それぞれ1つ)



回答項目	件数	有効回答数に占める割合
29歳以下	68	7.3%
30代	103	11.0%
40代	173	18.5%
50代	182	19.4%
60代	168	17.9%
70歳以上	241	25.7%
無回答	1	0.1%
計	936	

有効回答数=936

問2 明石市の情報やお知らせなどをどのような方法で入手していますか。(複数可)

(1) 項目別

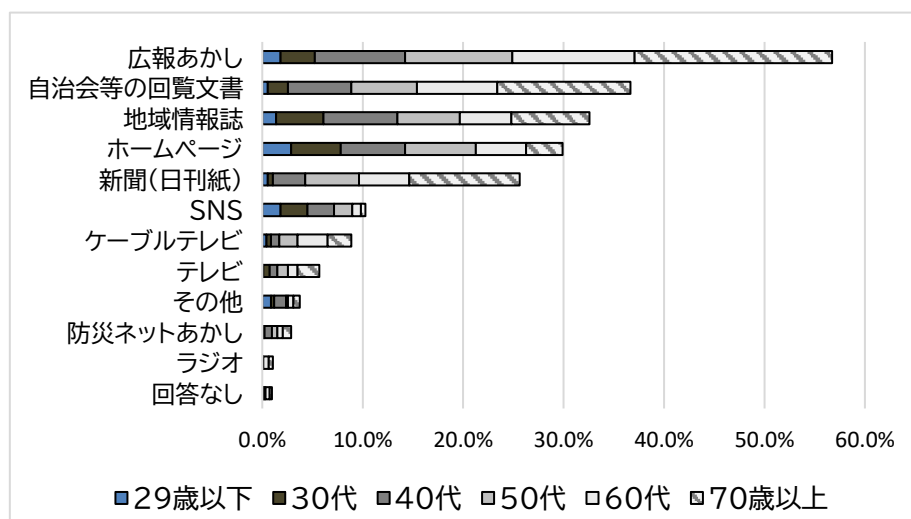
▶「広報あかし」から情報を入手している人は、全体で56.8%と最も高く、続いて「自治体回覧」36.6%、「地域情報誌・地域情報サイト」32.6%となっている。

▶前回の調査(平成30年度。以下同じ)と比較した場合、「新聞(日刊紙)」から入手している人の割合が10%ほど減少している(前回:35.7%)。

▶「市ホームページ」から情報を入手と回答した人の割合が、約10%増えている(前回:20.5%)。また、SNSから情報を入手する人も増えている(前回:2.9%)

選択肢	件数	有効回答数に占める割合
広報あかし	532	56.8%
ホームページ	280	29.9%
ケーブルテレビ	83	8.9%
SNS	96	10.3%
防災ネットあかし	27	2.9%
新聞(日刊紙)	240	25.6%
テレビ(ケーブルテレビ以外)	53	5.7%
ラジオ	10	1.1%
地域情報誌・地域情報サイト	305	32.6%
自治会等の回覧文書	343	36.6%
回答なし・記入漏れ	9	1.0%
その他	35	3.7%
計	2013	

有効回答数=936



(2) 年代別

▶前回調査では、29歳以下・30代では「広報あかし」から市の情報を得る人が最も多かったが、今回の調査では「ホームページ」から市の情報を得る人が最も多くなっている。

▶「ホームページ」から市の情報を得るについて、70歳以上では前回調査では7.5%だったが、今回は14.1%と約2倍となっている。

▶40代以上では、紙媒体の「広報あかし」から情報を得る人が最も多くなっている。

回答項目(%)	29歳以下
ホームページ	39.7%
広報あかし	25.0%
SNS	25.0%
地域情報誌	19.1%
その他	11.8%
新聞(日刊紙)	7.4%
自治会回覧	7.4%
ケーブルテレビ	5.9%
防災ネットあかし	1.5%
他のテレビ	1.5%
回答なし	1.5%
ラジオ	0.0%

回答項目(%)	30代
ホームページ	44.7%
地域情報誌	42.7%
広報あかし	31.1%
SNS	24.3%
自治会回覧	18.4%
他のテレビ	5.8%
新聞(日刊紙)	4.9%
ケーブルテレビ	3.9%
その他	2.9%
防災ネットあかし	1.0%
ラジオ	1.0%
回答なし	1.0%

回答項目(%)	40代
広報あかし	48.6%
地域情報誌	39.9%
ホームページ	34.7%
自治会回覧	34.1%
新聞(日刊紙)	17.3%
SNS	14.5%
その他	6.4%
ケーブルテレビ	4.6%
防災ネットあかし	4.0%
他のテレビ	4.0%
ラジオ	0.0%
回答なし	0.0%

回答項目(%)	50代
広報あかし	54.9%
ホームページ	36.3%
自治会回覧	33.5%
地域情報誌	31.9%
新聞(日刊紙)	27.5%
ケーブルテレビ	9.3%
SNS	9.3%
他のテレビ	5.5%
防災ネットあかし	2.7%
その他	1.1%
回答なし	0.5%
ラジオ	0.0%

回答項目(%)	60代
広報あかし	67.9%
自治会回覧	44.6%
地域情報誌	28.6%
ホームページ	28.0%
新聞(日刊紙)	28.0%
ケーブルテレビ	16.7%
他のテレビ	5.4%
SNS	4.8%
防災ネットあかし	3.0%
ラジオ	3.0%
その他	3.0%
回答なし	2.4%

回答項目(%)	70歳以上
広報あかし	76.3%
自治会回覧	51.5%
新聞(日刊紙)	42.7%
地域情報誌	30.3%
ホームページ	14.1%
ケーブルテレビ	9.1%
他のテレビ	8.3%
防災ネットあかし	3.3%
その他	2.5%
SNS	1.7%
ラジオ	1.7%
回答なし	0.8%

広報活動で充実してほしいテーマ

問3 市の広報活動でもっと充実してほしいテーマは何ですか。(3つまで)

(1) 項目別

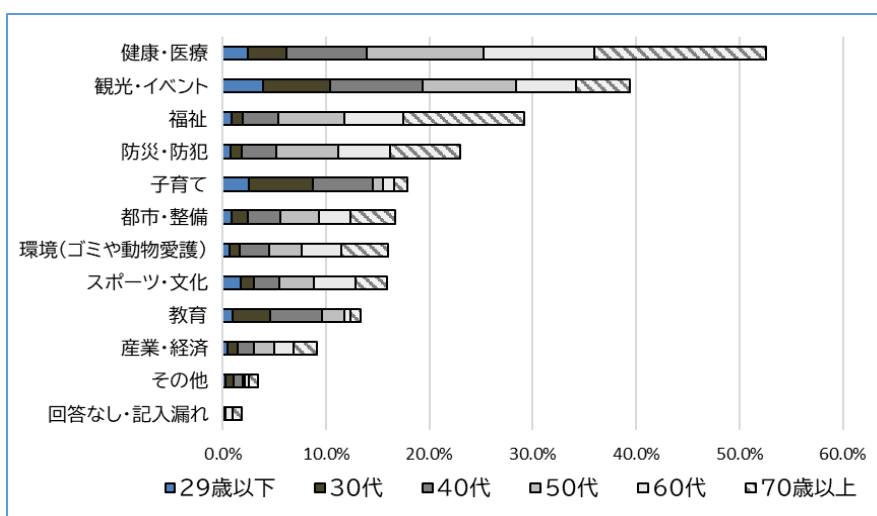
▶「健康・医療に関すること」52.6%が最も多く、前回(55.8%)と同水準である。

▶「観光・イベントに関すること」について前回(31.5%)から、39.5%に増加している。

▶「産業・経済に関すること」について前回(4.9%)から、9.1%に増加している。

選択肢	件数	有効回答数に占める割合
健康・医療	492	52.6%
観光・イベント	370	39.5%
防災・防犯	215	23.0%
福祉	273	29.2%
都市・整備	156	16.7%
環境(ゴミや動物愛護)	151	16.1%
子育て	167	17.8%
教育	125	13.4%
スポーツ・文化	150	16.0%
産業・経済	85	9.1%
回答なし・記入漏れ	17	1.8%
その他	32	3.4%
計	2233	

有効回答数=936



(2) 年代別

▶29歳以下・30代・40代では、「観光・イベントに関すること」に関心が高い。

▶50代以上では、いずれの年代においても「健康・医療に関すること」に関心が高くなっている。なお、「福祉に関すること」についても、年代が上がるにつれて、関心を持つ人が増えている。

回答項目(%)	29歳以下
観光・イベント	54.4%
子育て	35.3%
健康・医療	33.8%
スポーツ・文化	23.5%
教育	13.2%
福祉	11.8%
都市・整備	11.8%
防災・防犯	10.3%
環境	8.8%
産業・経済	5.9%
その他	4.4%
回答なし	1.5%

回答項目(%)	30代
観光・イベント	58.3%
子育て	56.3%
健康・医療	34.0%
教育	33.0%
都市・整備	14.6%
スポーツ・文化	11.7%
防災・防犯	9.7%
福祉	9.7%
産業・経済	9.7%
環境	8.7%
その他	6.8%
回答なし	0.0%

回答項目(%)	40代
観光・イベント	48.6%
健康・医療	41.6%
子育て	31.2%
教育	27.2%
防災・防犯	18.5%
福祉	18.5%
都市・整備	16.8%
環境	15.6%
スポーツ・文化	13.3%
産業・経済	8.1%
その他	4.6%
回答なし	0.6%

回答項目(%)	50代
健康・医療	58.2%
観光・イベント	46.7%
福祉	33.0%
防災・防犯	30.8%
都市・整備	19.2%
スポーツ・文化	17.6%
環境	16.5%
教育	11.0%
産業・経済	10.4%
子育て	4.9%
その他	1.1%
回答なし	0.5%

回答項目(%)	60代
健康・医療	60.1%
観光・イベント	32.1%
福祉	32.1%
防災・防犯	28.0%
スポーツ・文化	22.0%
環境	20.8%
都市・整備	17.3%
産業・経済	10.1%
子育て	6.0%
教育	3.6%
回答なし	3.6%
その他	2.4%

回答項目(%)	70歳以上
健康・医療	64.3%
福祉	45.2%
防災・防犯	26.1%
観光・イベント	20.3%
環境	17.8%
都市・整備	16.6%
スポーツ・文化	12.0%
産業・経済	8.7%
子育て	5.0%
教育	3.7%
回答なし	3.3%
その他	3.3%

問4 市において、今後もっとも充実してほしい広報媒体は何ですか。

(1) 項目別

▶「広報あかし」を充実してほしいと回答した人が46.5%と約半数を占める

▶「市ホームページ」や「SNS(インスタ・LINEなど)」といったインターネットを通じた情報発信を強化してほしいという回答も多くなっている

選択肢	件数	有効回答数に占める割合
広報あかし	435	46.5%
市ホームページ	184	19.7%
SNS(インスタ・LINE など)	200	21.4%
動画(YouTube など)	63	6.7%
回答なし・記入漏れ	40	4.3%
その他	14	1.5%
計	936	100%

有効回答数=936

(2) 年代別

▶29歳以下・30代・40代で「SNS」での情報発信の充実を求める回答が多い

▶一方、50代・60代・70歳以上では紙媒体の「広報あかし」の充実を求める回答が多い

回答項目(%)	29歳以下
SNS	61.8%
広報紙	14.7%
ホームページ	14.7%
YouTubeなど	5.9%
回答なし	1.5%
その他	1.5%

回答項目(%)	30代
SNS	44.7%
広報紙	21.4%
ホームページ	17.5%
YouTubeなど	13.6%
その他	1.9%
回答なし	1.0%

回答項目(%)	40代
SNS	31.8%
広報紙	29.5%
ホームページ	27.2%
YouTubeなど	5.8%
回答なし	2.9%
その他	2.9%

回答項目(%)	50代
広報紙	40.7%
ホームページ	25.3%
SNS	22.5%
YouTubeなど	8.2%
回答なし	2.7%
その他	0.5%

回答項目(%)	60代
広報紙	53.6%
ホームページ	24.4%
回答なし	8.3%
SNS	7.1%
YouTubeなど	5.4%
その他	1.2%

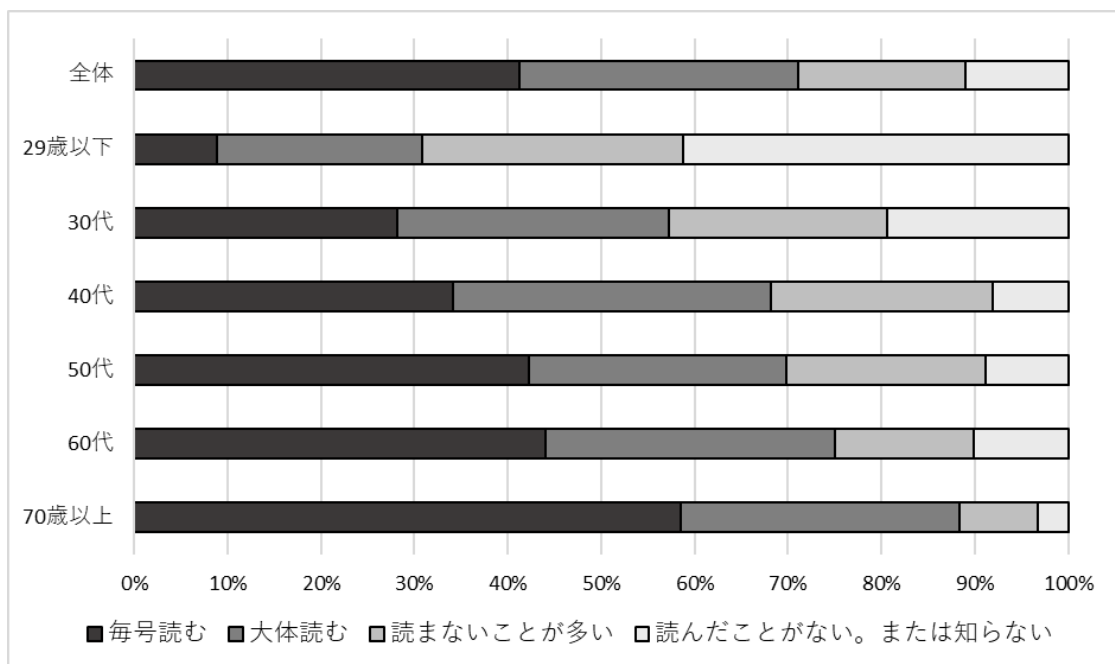
回答項目(%)	70歳以上
広報紙	77.6%
ホームページ	9.1%
回答なし	5.8%
YouTubeなど	4.6%
SNS	1.7%
その他	1.2%

広報あかし

問5 市では毎月2回(1日と15日)、市の広報紙である「広報あかし」を発行しています。「広報あかし」を毎号読みますか。

▶「毎号読んでいる」「大体読んでいる」と答えた人の合計は全体で71%となっており、前回(68.1%)と比べ少し増加している。

▶「読んだことがない。知らない」の全体の割合が11%なのに対して、29歳以下ではその割合が41.2%を占めている。



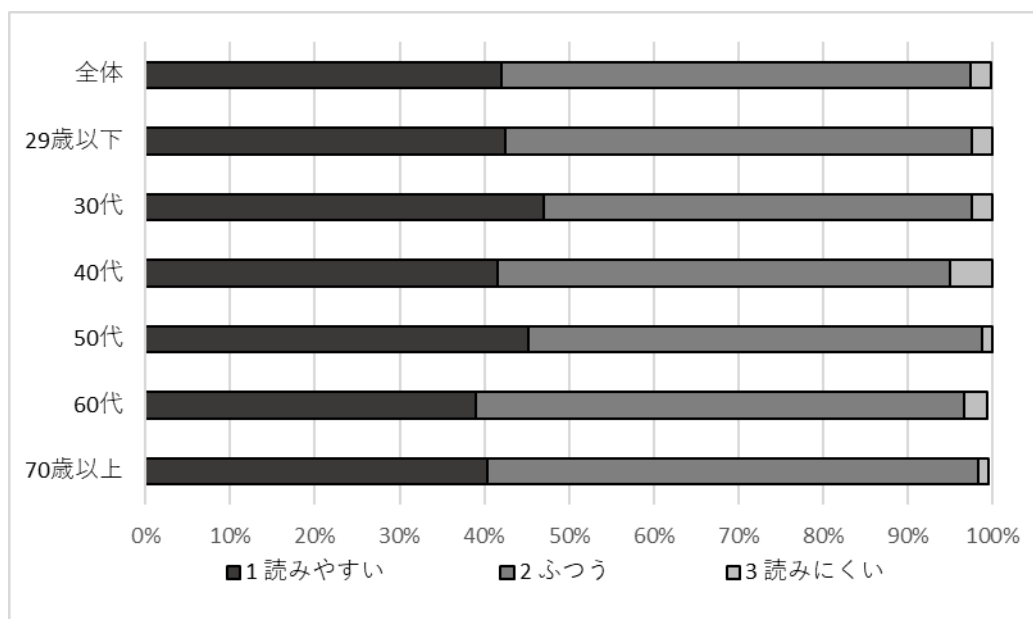
選択肢	件数	有効回答数に占める割合
毎号読む	386	41.2%
大体読む	279	29.8%
読まない	168	17.9%
読んだことがない	103	11.0%
回答なし	0	0.0%
計	936	100%

有効回答数=936

問6 「広報あかし」は読みやすいですか。

▶42%の人が、広報あかしを「読みやすい」と回答しており、前回(38.2%)からわずかに上昇している。

▶「読みにくい」と回答した人は、2.4%であり、前回(2.9%)とほぼ同じ水準である。最も「読みにくい」と回答した割合が高いのは40代で、その割合は5%である。



選択肢	件数	有効回答数に占める割合
読みやすい	350	42.0%
ふつう	461	55.3%
読みにくい	20	2.4%
回答なし	2	0.2%
合計	833	100%

有効回答数 = 833

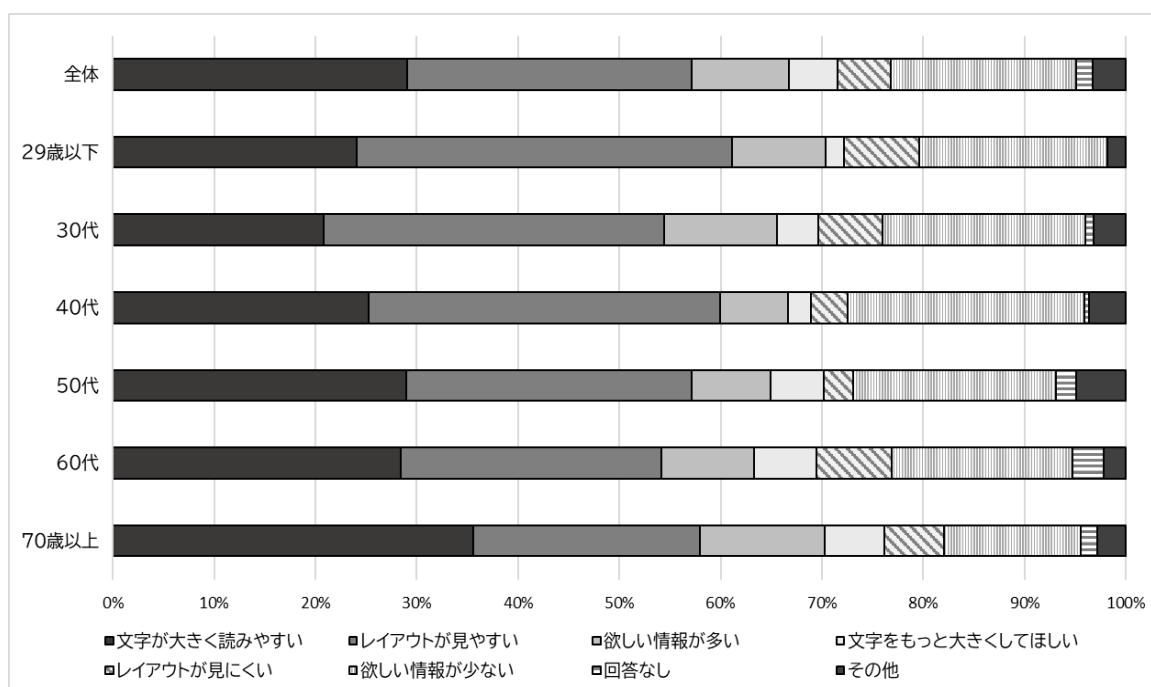
広報紙への意見

問7 「広報あかし」は、誰にでも読みやすい広報紙づくりに努めています。率直な感想を教えてください。(複数可)

▶「文字が大きく読みやすい」と回答した人は、全体の29%であり、最も回答数が多かった。なお、この割合は、おおよそ年代が上がるにつれて、高くなっている。

▶28.1%の人が、「レイアウトが見やすい」と回答しており、前回(22.8%)からわずかに上昇している。

▶一方、18.3%の人が「欲しい情報が少ない」と回答しており、前回(15.8%)からわずかに上昇している。特に40代で「欲しい情報が少ない」と回答した人の割合が高くなっている。



回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
文字が大きく読みやすい	29.0%	24.1%	20.8%	25.2%	29.0%	28.4%	35.6%
レイアウトが見やすい	28.1%	37.0%	33.6%	34.7%	28.2%	25.8%	22.4%
欲しい情報が多い	9.6%	9.3%	11.2%	6.8%	7.8%	9.2%	12.3%
文字をもっと大きくしてほしい	4.8%	1.9%	4.0%	2.3%	5.3%	6.1%	5.9%
レイアウトが見にくい	5.3%	7.4%	6.4%	3.6%	2.9%	7.4%	5.9%
欲しい情報が少ない	18.3%	18.5%	20.0%	23.4%	20.0%	17.9%	13.4%
回答なし	1.6%	0.0%	0.8%	0.5%	2.0%	3.1%	1.7%
その他	3.2%	1.9%	3.2%	3.6%	4.9%	2.2%	2.8%

有効回答数 = 1233

【「その他」に記入されたもの】

▶カラー印刷に関すること

- カラーで良い(5件)

▶情報に関すること

- 情報量が多すぎる・文字が多すぎる(5件)

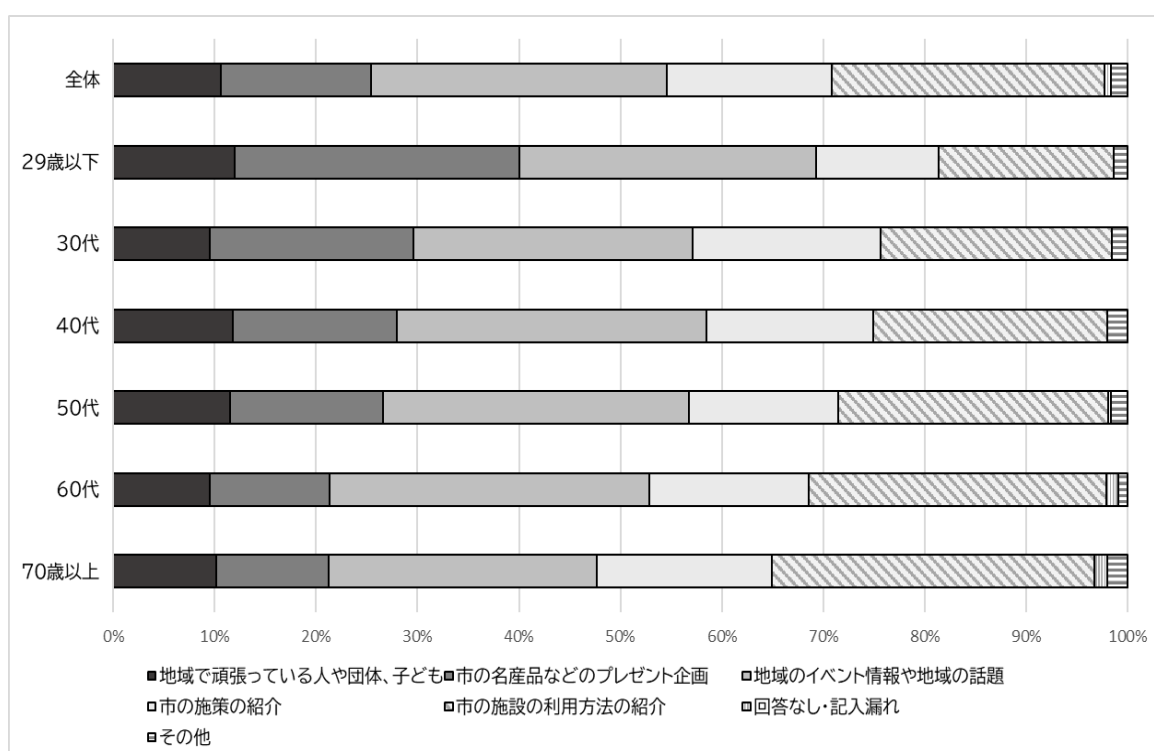
▶その他意見

- 月1回の発行にして雑誌のように(1件)
- 内容が定番化していて変化が少ない(1件)
- 魅力あるタイトルを(1件)
- 子育てに偏り過ぎている(1件)
- 高齢者向けの情報をもっと掲載して欲しい(1件)

問8 より多くの人に読んでもらうために、どのような記事があれば良いと思いますか
(複数可)

▶29.2%の人が「地域のイベント情報や地域の話題」と回答しており、最も回答数が多かった

▶年代が上がるにつれて、「市の施設と利用方法の紹介」と回答した人の割合が高くなっている。

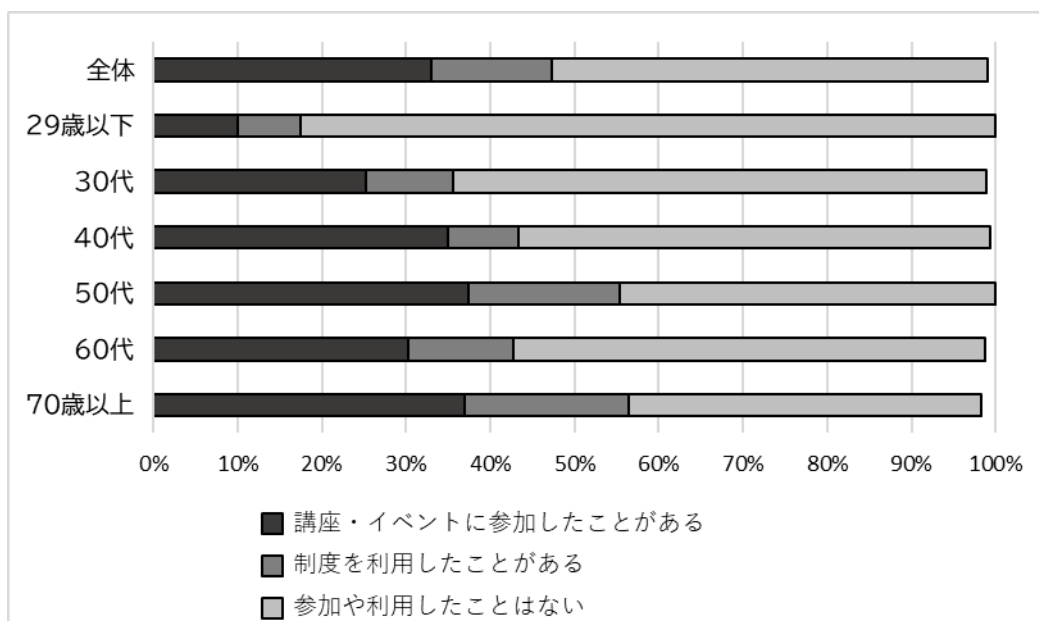


回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
地域で頑張っている人や団体、子ども	10.6%	12.0%	9.5%	11.8%	11.5%	9.5%	10.2%
市の名産品などのプレゼント企画	14.8%	28.0%	20.1%	16.1%	15.1%	11.9%	11.0%
地域のイベント情報や地域の話題	29.2%	29.3%	27.5%	30.5%	30.1%	31.5%	26.5%
市の施策の紹介	16.2%	12.0%	18.5%	16.4%	14.8%	15.7%	17.2%
市の施設の利用方法の紹介	26.9%	17.3%	22.8%	23.1%	26.6%	29.4%	31.8%
回答なし・記入漏れ	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.2%	1.3%
その他	1.6%	1.3%	1.6%	2.0%	1.6%	0.9%	2.0%

有効回答数 = 1767

問9 「広報あかし」の記事を読んで、講座・イベントなどに参加したことや、制度を利用したことがありますか。(複数可)

▶「講座・イベントに参加したことがある」・「制度を利用したことがある」と回答した人を合計すると47.3%となっている。



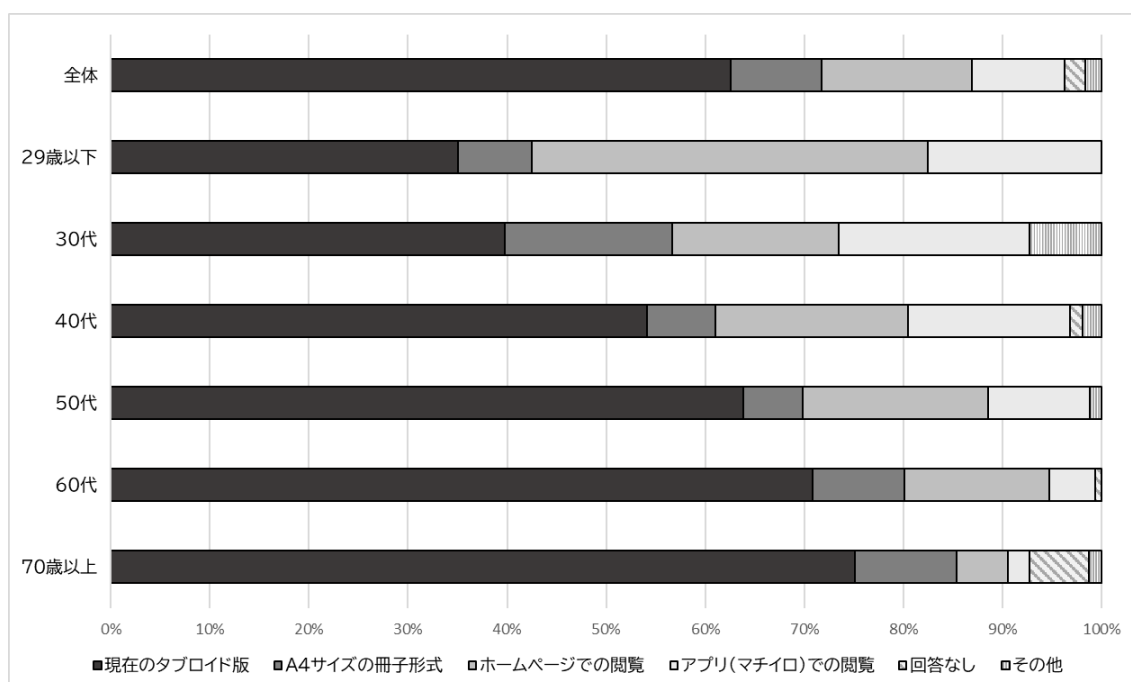
回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
講座・イベントに参加したことがある	33.0%	10.0%	25.3%	34.9%	37.4%	30.3%	36.9%
制度を利用したことがある	14.3%	7.5%	10.3%	8.4%	17.9%	12.5%	19.5%
参加や利用したことはない	51.7%	82.5%	63.2%	56.0%	44.7%	55.9%	41.9%
回答なし・記入漏れ	0.9%	0.0%	1.1%	0.6%	0.0%	1.3%	1.7%

有効回答数 = 866

問10 今後、「広報あかし」をどのような形式で読みたいですか

▶全体の62.5%の人が「現在のタブロイド版」で読みたいと回答しており、年代が上がるにつれてその割合も上昇している。

▶「ホームページでの閲覧」・「アプリでの閲覧」を合せると、24.5%となり、インターネット上での情報入手を求める人が増えている



回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
現在のタブロイド版	62.5%	35.0%	39.8%	54.1%	63.9%	70.9%	75.1%
A4サイズの冊子形式	9.2%	7.5%	16.9%	6.9%	6.0%	9.3%	10.3%
ホームページでの閲覧	15.1%	40.0%	16.9%	19.5%	18.7%	14.6%	5.2%
アプリ(マチイロ)での閲覧	9.4%	17.5%	19.3%	16.4%	10.2%	4.6%	2.1%
回答なし	2.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.7%	6.0%
その他	1.7%	0.0%	7.2%	1.9%	1.2%	0.0%	1.3%

有効回答数 = 833

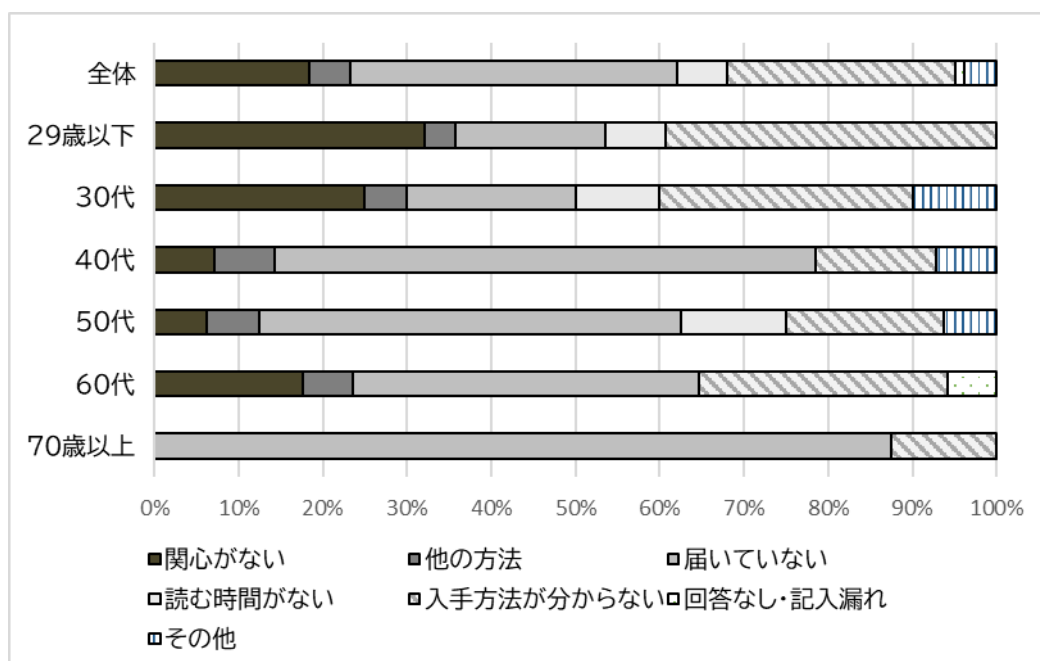
問11 「広報あかし」を「読んだことがない」、または「知らない」と答えた方にお聞きします。主な理由は何でしょうか。

▶広報紙を読まない理由として最も多いのは、「届いていない」が38.8%であり、前回(47.8%)と比べると減っているが、まだ高くなっている。続いて、「入手方法が分からない」が27.2%となっている。

▶届いていない・入手方法が分からない人向けに、ポスティング、アプリの周知が必要だと考えられる。

▶「その他」に記入されたもの

- 「広報あかし」の存在を知らなかった(2件)
- 届いていない、届いていることを知らない(2件)



回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
関心がない	18.4%	32.1%	25.0%	7.1%	6.3%	17.6%	0.0%
他の方法	4.9%	3.6%	5.0%	7.1%	6.3%	5.9%	0.0%
届いていない	38.8%	17.9%	20.0%	64.3%	50.0%	41.2%	87.5%
読む時間がない	5.8%	7.1%	10.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
入手方法が分からない	27.2%	39.3%	30.0%	14.3%	18.8%	29.4%	12.5%
回答なし・記入漏れ	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%
その他	3.9%	0.0%	10.0%	7.1%	6.3%	0.0%	0.0%

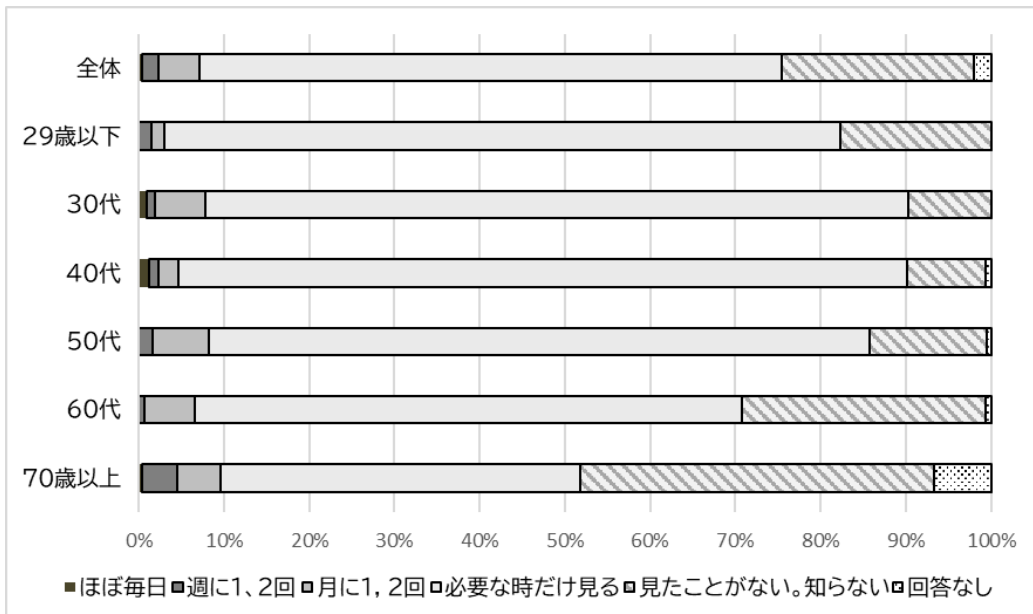
有効回答数=103

ホームページ

問12 明石市ホームページをどの程度見ていますか。

▶「必要な時だけ見る」が68.3%と半数を超えており、中でも30代・40代では80%を超える高い数値になっている。前回(51.2%)と比較しても利用割合は増えており、ホームページは重要な情報源だと言える。

▶「見たことがない、知らない」は22.5%であり、前回(43.1%)より20.6ポイント減っている。しかしながら、70歳以上では41.5%の人が「見たことがない、知らない」人が回答しており、世代間での格差がうかがえる。



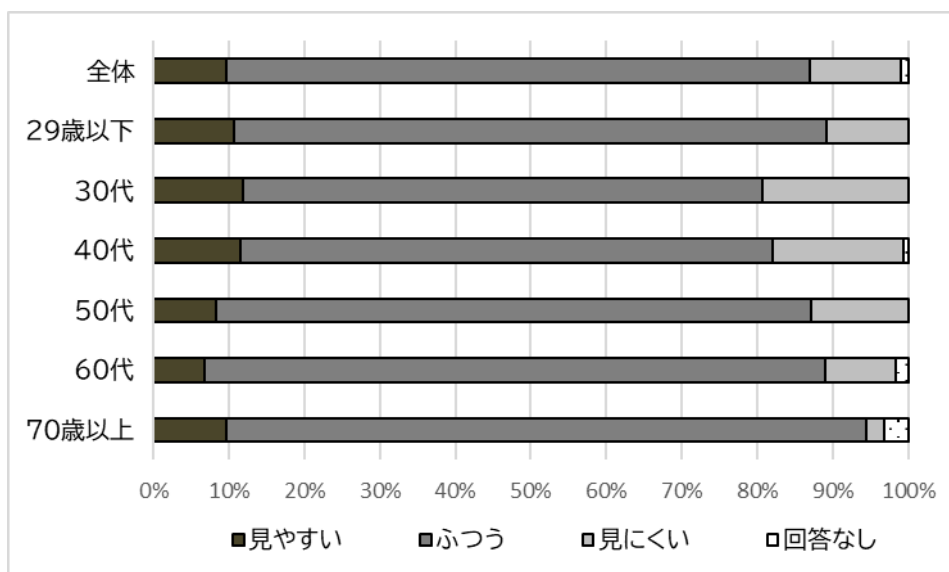
回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
ほぼ毎日	0.4%	0.0%	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.4%
週に1, 2回	1.9%	1.5%	1.0%	1.2%	1.6%	0.6%	4.1%
月に1, 2回	4.8%	1.5%	5.8%	2.3%	6.6%	6.0%	5.0%
必要な時だけ見る	68.3%	79.4%	82.5%	85.5%	77.5%	64.3%	42.3%
見たことがない。知らない	22.5%	17.6%	9.7%	9.2%	13.7%	28.6%	41.5%
回答なし	2.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.6%	6.6%

有効回答数 = 936

問13 明石市ホームページのトップページのデザインや情報の配置はどうでしたか。

▶全体では、77.3%の人が「ふつう」と回答しており、ホームページに不便を感じていないことが分かる。

▶一方、「見にくい」と答えた人は12.0%おり、特に30代では19.4%の人が「見にくい」と回答している。



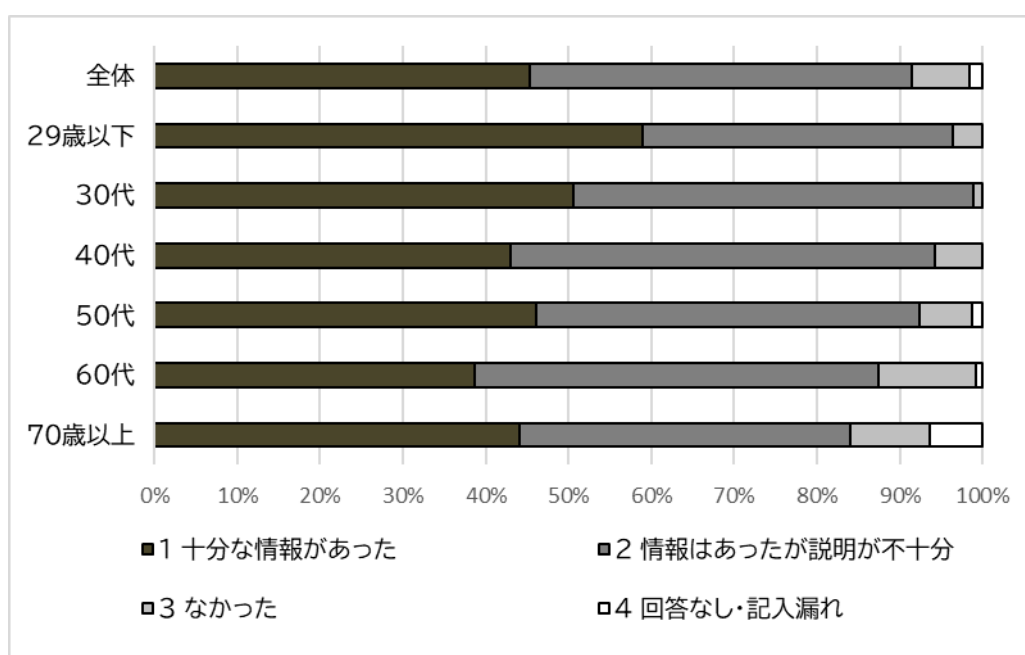
回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
見やすい	9.6%	10.7%	11.8%	11.5%	8.3%	6.7%	9.6%
ふつう	77.3%	78.6%	68.8%	70.5%	78.8%	82.4%	84.8%
見にくい	12.0%	10.7%	19.4%	17.3%	12.8%	9.2%	2.4%
回答なし	1.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	1.7%	3.2%

有効回答数 = 706

問 14 明石市ホームページに必要な情報はありましたか。

▶必要な情報が「なかった」と答えた人は、全体の6.9%であり、前回(9.1%)から若干減少している。しかしながら、「説明が不十分」と感じている人も46.2%おり、過半数を超える人(計53.1%)が、ホームページの情報量に満足していないと言える。

▶なお、情報量に満足しているのは、全体の45.3%であり、前回(43.8%)より1.5ポイント増加している。



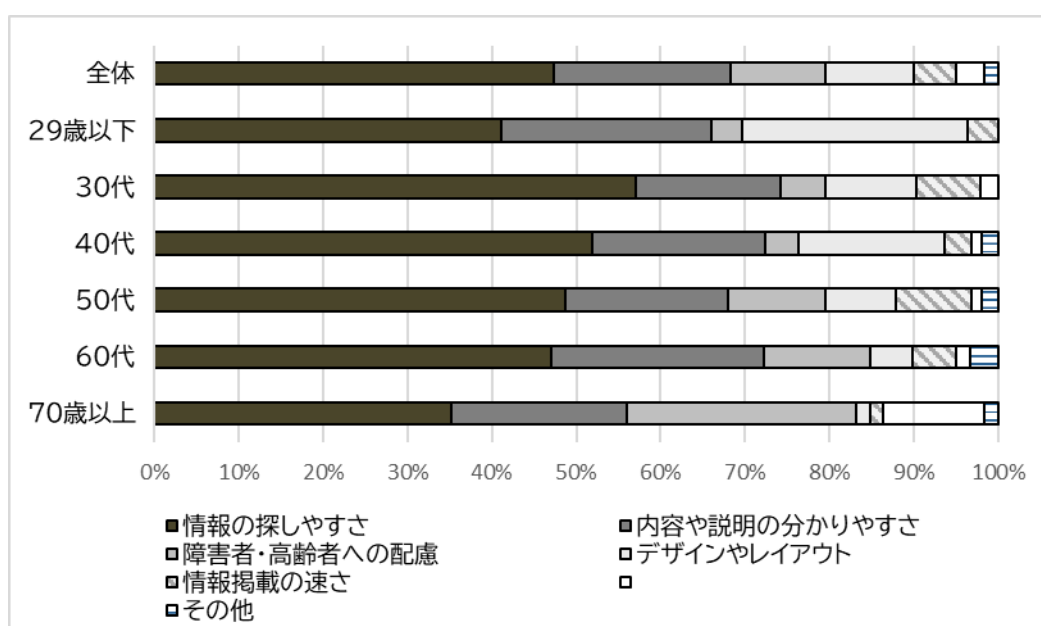
回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1 十分な情報があった	45.3%	58.9%	50.5%	42.9%	46.2%	38.7%	44.0%
2 情報はあったが説明が不十分	46.2%	37.5%	48.4%	51.3%	46.2%	48.7%	40.0%
3 なかった	6.9%	3.6%	1.1%	5.8%	6.4%	11.8%	9.6%
4 回答なし・記入漏れ	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.8%	6.4%

有効回答数 = 706

問15 明石市ホームページで工夫や対応が必要と思われるのはどのようなことですか

▶ホームページで工夫や対応が必要なこととしては、「情報の探しやすさ」47.3%が最も多くなっている。

▶「内容や説明の分かりやすさ」と答えた人も21.0%となっており、分かりやすいページ作りが求められている。

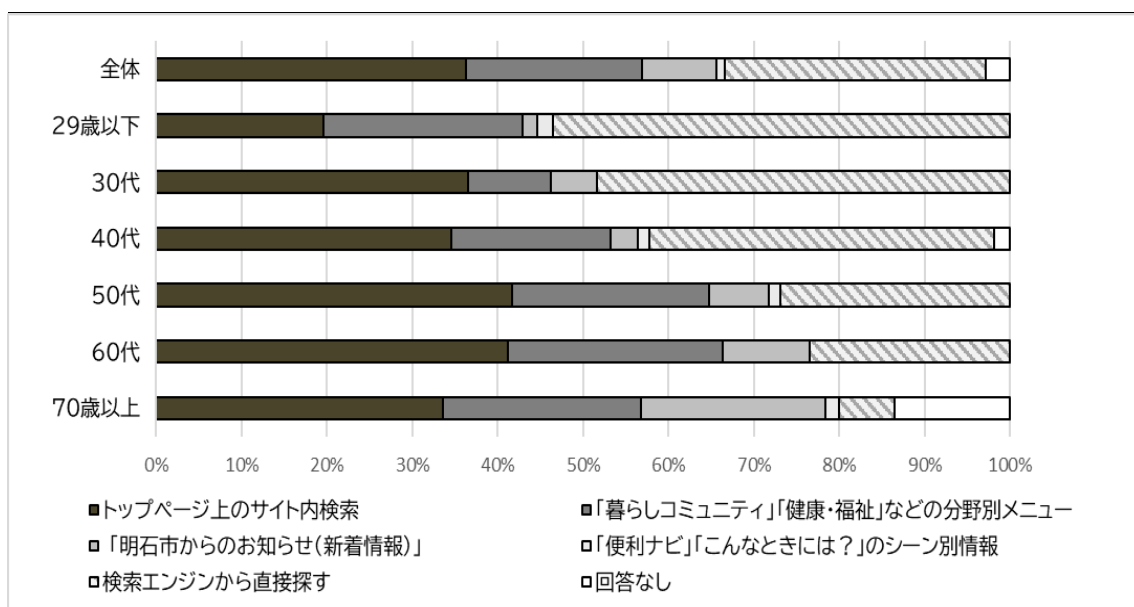


回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
情報の探しやすさ	47.3%	41.1%	57.0%	51.9%	48.7%	47.1%	35.2%
内容や説明の分かりやすさ	21.0%	25.0%	17.2%	20.5%	19.2%	25.2%	20.8%
障害者・高齢者への配慮	11.3%	3.6%	5.4%	3.8%	11.5%	12.6%	27.2%
デザインやレイアウト	10.3%	26.8%	10.8%	17.3%	8.3%	5.0%	1.6%
情報掲載の速さ	5.1%	3.6%	7.5%	3.2%	9.0%	5.0%	1.6%
回答なし	3.3%	0.0%	2.2%	1.3%	1.3%	1.7%	12.0%
その他	1.7%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	3.4%	1.6%

有効回答数 = 706

問16 明石市ホームページ内の情報をどのように探しますか

▶「トップページ上のサイト内検索」や「検索エンジン」からキーワードを入力し検索する人が多い。



回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
トップページ上のサイト内検索	36.3%	19.6%	36.6%	34.6%	41.7%	41.2%	33.6%
「健康・福祉」などの分野別メニュー	20.7%	23.2%	9.7%	18.6%	23.1%	25.2%	23.2%
「明石市からのお知らせ(新着情報)」	8.6%	1.8%	5.4%	3.2%	7.1%	10.1%	21.6%
「便利ナビ」などのシーン別情報	1.0%	1.8%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%	1.6%
検索エンジンから直接探す	30.6%	53.6%	48.4%	40.4%	26.9%	23.5%	6.4%
回答なし	2.8%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	13.6%

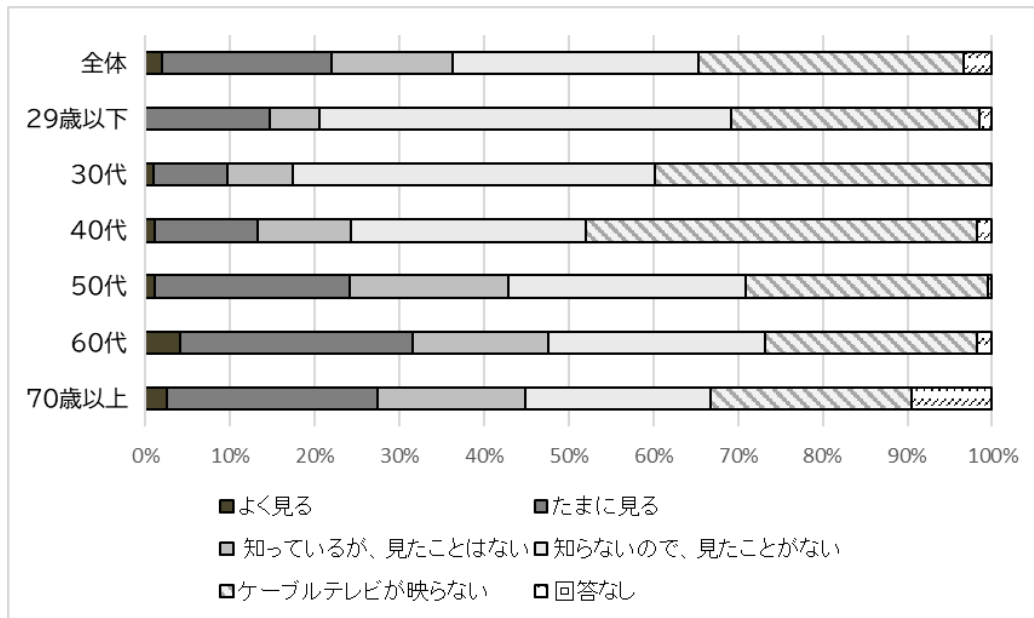
有効回答数 = 706

明石市広報番組「海峡のまち明石」について

問17 市広報番組「海峡のまち明石」を毎月2番組、明石ケーブルテレビで放送しているほか、市のホームページやYouTubeでも公開しています。「海峡のまち明石を」見たことがありますか。

▶「知っているが、見たことはない」「知らないので見たことがない。」「ケーブルテレビが映らない」と答えた人は全体で74.7%となっている。

▶見たことがある人の合計は22%となり、前回より(19.7%)少し上昇している。



回答項目(%)	全体	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
よく見る	1.9%	0.0%	1.0%	1.2%	1.1%	4.2%	2.5%
たまに見る	20.1%	14.7%	8.7%	12.1%	23.1%	27.4%	24.9%
知っているが、見たことはない	14.3%	5.9%	7.8%	11.0%	18.7%	16.1%	17.4%
知らないので、見たことがない	29.1%	48.5%	42.7%	27.7%	28.0%	25.6%	22.0%
ケーブルテレビが映らない	31.3%	29.4%	39.8%	46.2%	28.6%	25.0%	23.7%
回答なし	3.3%	1.5%	0.0%	1.7%	0.5%	1.8%	9.5%

有効回答数=936

自由意見

問18 その他、市の広報活動についてご意見・ご要望などありましたらご記入下さい。

主な記載内容は次のとおり。

【広報活動全般】

○要望

- ・SNS(インスタ・ツイッター)での情報発信を強めて欲しい
- ・ホームページは高齢者が利用しにくいので、紙の発行を続けて欲しい
- ・スマホのアプリで明石のいろんな情報・イベントを入手できるようにして欲しい
- ・良い面だけではなく、悪い面も広報を

【広報紙】

◎満足◎

- ・分かりやすく、親しみやすい
- ・硬くもなく、柔らかくもなく、ほどよい企画、レイアウトでよい
- ・写真も多くきれいな紙面で読みやすい

●不満●

- ・詳しくはこちらからという、QRコードが多い
- ・情報を詰め込み過ぎで、何が重要な情報か分からない
- ・印刷代がもったいない
- ・アイデアに欠けて面白くない

○提案○

- ・もう少し大きな文字にして欲しい
- ・毎月1回の発行にして、内容を充実
- ・みんなが読めるようにフリガナをつけてほしい
- ・エリア別の情報が欲しい
- ・子どもに関する情報だけではなく、高齢者・介護の情報を増やしてほしい

【ホームページ】

●不満●

- ・検索のしやすさなど、工夫が必要
- ・トップページが特に字が多くて、分かりづらい。親しみやすいレイアウトを希望
- ・ホームページはとにかく分かりにくい。どこを探せば良いかも分からない
- ・ホームページでの説明が不十分でわかりにくい
- ・ホームページがスマホで見にくい